

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】平成 17 年 9 月 22 日 (2005.9.22)

【公開番号】特開 2000-298078 (P2000-298078A)
 【公開日】平成 12 年 10 月 24 日 (2000.10.24)
 【出願番号】特願 平 11-105567
 【国際特許分類第 7 版】
 G 0 1 M 13/02
 G 0 1 L 5/00
 【F I】
 G 0 1 M 13/02
 G 0 1 L 5/00 G

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 4 月 15 日 (2005.4.15)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 9
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 9】

これら各検出素子の測定データは、図 7 に示す様に、マイクロコンピュータ等の演算処理器 14 に入力している。そして、この演算処理器 14 は、上記荷重測定器 15 の検出値 F と上記駆動側トルク測定器 8 の検出値 Tq_1 とから、トラクション係数 μ を算出する。又、上記演算処理器 14 は、上記駆動側、従動側両回転検出器 10、12 の測定値 N_1 、 N_2 から、トラクション部である、上記駆動側ローラ 9 の外周面と上記従動側ローラ 11 の外周面との当接部の滑り率 s を算出する。又、上記演算処理器 14 は、上記駆動側、従動側両トルク測定器 8、13 の検出値 Tq_1 、 Tq_2 と、上記駆動側、従動側両回転検出器 10、12 の測定値 N_1 、 N_2 とから、上記駆動側ローラ 9 の外周面と上記従動側ローラ 11 の外周面との当接部での動力伝達の効率 $\{ = (N_2 \cdot Tq_2) / (N_1 \cdot Tq_1) \}$ を算出する。又、上記演算処理器 14 は、上記トラクション係数 μ の算出値と上記滑り率 s の算出値とをプロッタ 17 に送り、このプロッタ 17 に、例えば図 8 に示す様な測定値を出力させる。更に、上記演算処理器 14 は、上記滑り率 s と設定値とを比較し、この滑り率が設定値を越えた場合に、安全装置 18 により、前記試験器本体 1 を停止させる。